

# 我が町の 移住コーディネーター

移住コーディネーターになるまで編

いわせしんや  
岩瀬進哉さん



## 森町移住コーディネーターって？

人口減少（少子高齢化）が進行する中、森町への移住を検討する方も増えています。そのため、より柔軟で迅速な情報提供や移住希望者一人一人のニーズにあった相談対応、また、定住・定着に向けた支援等を行います。また、町と連携しながら「移住コーディネーター」として移住定住の促進による地域の活性化を図っています。



## 大学時代

出身地である浜松から東京へ。農業サークルにはまり、4年間の内の6か月を養豚場で、4か月を東南アジアで過ごす。

## 社会人になって

大学時代に様々な場所の農家の暮らしを経験する中で、国産材の家づくりに興味を持ち、建築士になろうと決意。アルバイトをしながら建築を学び、浜松にUターンして工務店で働く。

## 森町初の地域おこし協力隊

学生時代の農家の暮らしが忘れられず、移住先を探す中で縁あって森町へ。2016年9月から森町の地域おこし協力隊として活動し、天方地区鍛冶島の半夏生の保全、グリーンツーリズムの協力やマウンテンバイクのツアーなどを開催。

## ゲストハウス開業

地域おこし協力隊の活動と同時並行で、3年間の任期後の仕事づくりのために、住居でもある新町の町家を改装。2017年8月に宿泊施設「ゲストハウス森と町」をオープンする。

## 現在

役場に移住定住推進のため定住推進課ができ、自身もゲストハウスを運営する中で、移住相談を受けることが増えたので地域おこし協力隊の任期終了後に移住コーディネーターの委嘱を受け、現在に至る。

## 4月の活動報告

### 佐野

- 友田家関連  
田んぼ整備
- 拠点づくり関連  
ゲストハウス内装、ウッドデッキ改装、ドア制作
- 手仕事関連  
ニンニク紙、赤米甘藷試作、干しタケノコ試作
- イベント関連  
オフグリッドWS

### 横山

- 移住定住相談  
移住相談、地域・物件案内
- 交流田んぼ  
苗づくり（種まき、育苗ハウス作り）、動物よけ柵作り、畔補修
- 地域  
旧三倉小学校で鯉のみり上げ、暮らしのチェーンソー教室、災害復旧相談

### 松葉

- 商品開発関連  
とうもろこし商品開発準備
- 広報関連  
協力隊新聞編集作業
- 関係人口創出  
鍛冶島交流拠点「たまどん」整備、たまどん利活用計画準備、磐田農林大×中山企画打ち合わせ

### 岩瀬

- 移住定住相談  
移住・店舗相談
- 空き家の調査  
三倉上野平地区
- 空き家利活用推進  
仲横町旧レコード店改修、鍛冶島交流拠点整備
- 関係人口創出  
ゆるゆる遠州ガイドライド

# 森町地域おこし協力隊新聞

令和5年（2023年）

5月

第10号

### メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香（パチカ）

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課

# 西向きジャーナル

## 山暮らし小さな仕事レシピ

晩春。花の開花ラッシュも落ち着き、朝晩はまだ肌寒いけれど、日中は汗をかくほど暑い日もある。春なのか初夏なのか、心も身体もしっくりせず、ゆらゆら揺れる時期。

冬にキムチづくりのために買ったニンニクが、使い切れず芽が出てしまいました。長持ちする調味料に加工しようと思ったところ、玉ねぎ糀なるものが流行っているようだ。同じ要領でニンニク糀を作ってみる。

ニンニクチューブのように使ってみた。毎度ニンニクの皮を剥いて、刻んだりすり下ろす手間が減ったし、量も倍くらいに増えた。何とまあ良いことだらけ。

タケノコや山菜も美味しいけれど、ニンニクでガツンと滋養強壮しちゃう。

### ニンニク糀

【材料】 1ℓ 瓶ひとつ分

ニンニク：約 500g

米糀：500g ニンニクと同量

### 【作り方】

① ニンニクの皮を剥き、すりおろす。または、ブレンダー等でペースト状にする。

② ブレンダーやミキサーを使うと、緑色に変色することがあります！

③ 用意しておいた米糀と混ぜ、瓶に入れる。

④ ※水分が少ない場合、玉ねぎのすりおろしを足す(分量外)。

⑤ 三日ほど、毎日混ぜたら完成

佐野祥(サノシヨウ)・森町地域おこし協力隊

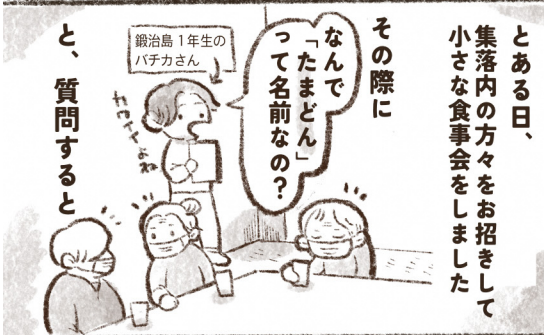
沖縄で伝統織物の織り子、2年間の海外新婚旅行を経て、森町で循環型の里山暮らしを実践。主に、里山の保全、イベント企画運営を行っている。



元酒屋の古民家 たまどん

週末の甘味処と地域の寄り合いの場を目指して少しずつ進化中

森町北部の鍛冶島集落ではこちらの古民家のリノベーションが着々と進行中



とある日、集落内の方々をお招きして小さな食事会をしました

その際に

「なんで「たまどん」って名前なの？」

鍛冶島1年生のバチカさん

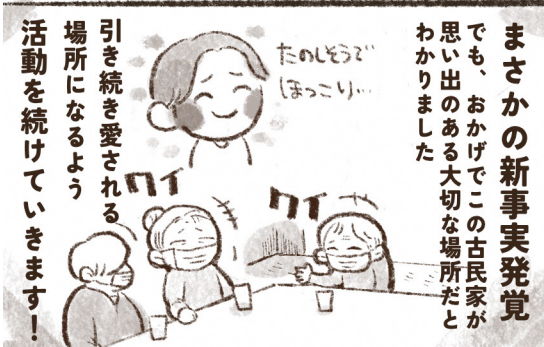
と、質問すると



「さあ？」

「おれらのところはこの店のじいさんの名前から「しかさあ」って呼んでたぞ」

「うちもそうだった！」



まさかの新事実発覚でも、おかげでこの古民家がある大切な場所だとわかりました

引き続き愛される場所になるよう活動を続けていきます！

## 協力隊の活動記録

地域おこし協力隊  
よこやまはると  
横山春人

「森町で暮らしたい」「森町で暮らしたい」という移住相談のかたが増えているように思いますが、空家や地域を案内したり、田んぼや暮らしを体験してもらおう取り組みもしています。自分も森町の魅力に惹かれ移住した一人として、この町の良さを伝えていきたいです。

地域では、鯉のぼりが元気にあがり、お茶刈りや田植えと、今年もにぎやかな季節がやってきました。

### 地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場（定住推進課）

0538-85-6321

